

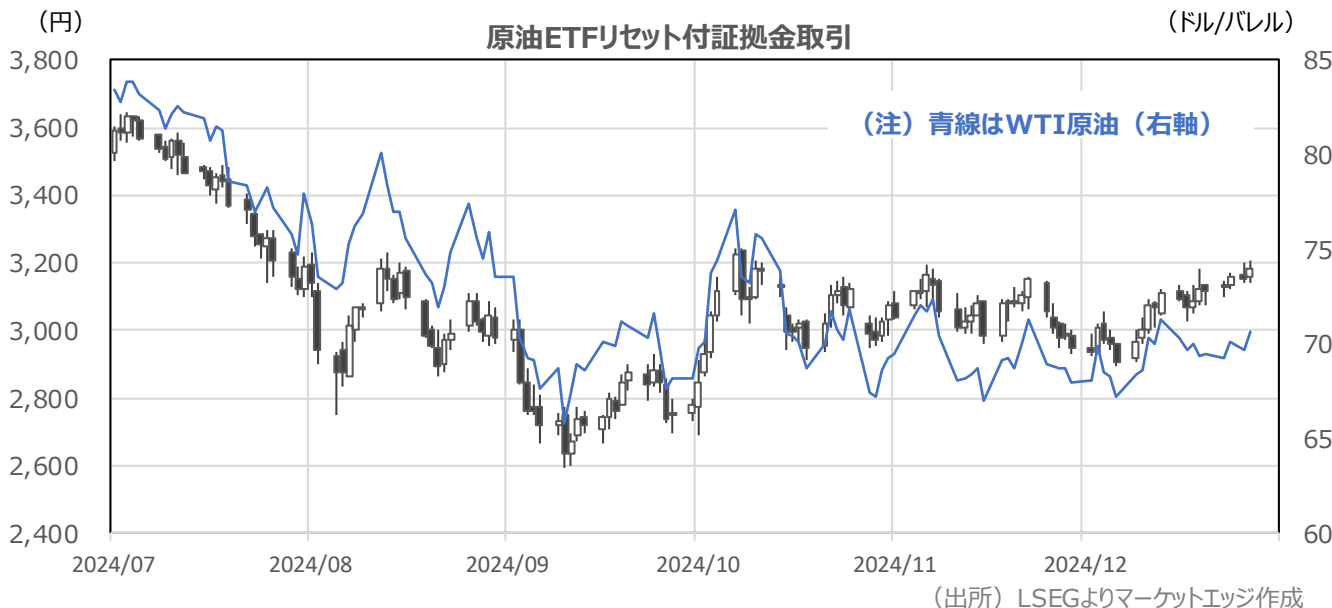
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/12/30号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



70ドルを挟んで売買が交錯

NY原油先物相場は、1バレル=70ドルを挟んで売買が交錯する展開になった。クリスマス、年末を控えて持高調整が中心の展開になった。需給緩和見通しが上値を圧迫する一方、中国政府の景気対策期待、ウクライナや中東情勢の緊迫化、米原油在庫減少の下値サポートもみられ、明確な方向性を打ち出せていない。

2024年の原油相場は12月27日時点で23年末から1.05ドル安の70.60ドルとなっており、概ね前年比では横這いになる見通し。年間を通じて中東とウクライナの二つの戦争を抱えたことで地政学リスクを織り込む場面も見られたが、年間高値は4月の87.67ドルだった。年後半は需給緩和見通しの織り込みからコアレンジを切り下げたが、年間安値は9月の65.27ドルであり、年末に向けては値動きの鈍さが目立った。米原油在庫の抑制が進んだこと、中国政府の景気対策が一定の効果を上げ始めたことで、上値は重いながらも値崩れは見送られ、70ドルの節目付近での売買が中心になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月20日時点）は、原油が前週比424万バレル減、ガソリン163万バレル増、石油精製品が169万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

年初は70ドル水準で売買が交錯、25年は供給過剰の織り込みへ

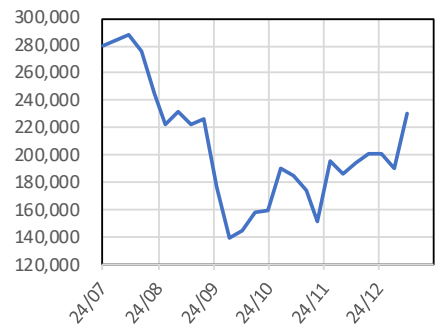
70ドルを挟んで売買が交錯する展開が続く見通し。マクロ需給見通しからは価格見通しは下向きであり、戻り売り対応が基本になるが、一方的な展開にはなりづらい。改めて不安定化している中東やウクライナ情勢、米原油在庫の減少傾向、中国景気対策期待の動きもあり、投機筋は安値で早めに買いを入れる傾向が強い。1月2日に中国、4日に米国で12月製造業PMIが発表されることがイベントリスクになる。

年初の段階でトランプ米次期政権下での増産リスクを織り込む動きが活発化すると、60ドル台後半で上値の重い展開になりやすい。需給緩和見通しの織り込みが強化された際にも、戻り売り優勢の地合が続いていることを確認しよう。ただし、ボックス相場が長期化しているため、60ドル台後半から一段安を打診するためには、何等かのきっかけとなる新規売買材料が求められる見通し。

2025年は需給緩和見通しの織り込みが基本になる。石油需要の伸びは抑制され、石油輸出国機構（OPEC）プラス以外の増産で十分な供給量を確保できる見通しにある。OPECプラスが年間を通じて減産を解除できない前提でも、供給過剰見通しが強い。特にトランプ米新政権の下で米国の増産圧力が強まるようなことがあると、価格下振れリスクが高まる。米中間の貿易紛争による世界経済の減速リスクにも注意が必要。

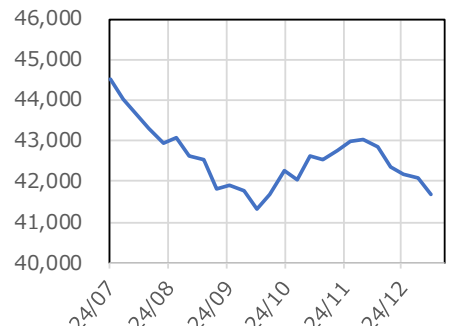
ただし、過度に原油安が進行すれば、OPECプラス以外の増産にはブレーキが掛かり、そのことが原油安にブレーキを掛ける見通し。米政府の戦略石油備蓄（SPR）増強の動きも下値を支えよう。一方、突発的な供給障害のリスクも高く、特に米欧の対イラン制裁再開の動きがみられると、大きな混乱が生じる可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



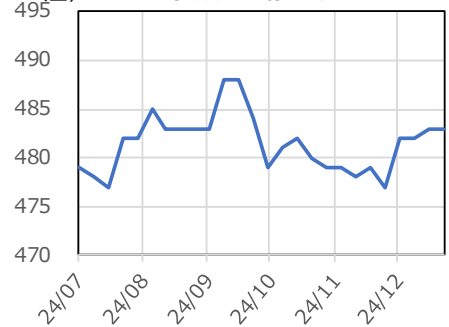
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

